

介護老人保健施設ライフサポートひなた

症 例 概 要 利用者氏名：80代 男性 介護度5

利用サービス：入所

既往歴：脳梗塞、慢性胃炎、急性膀胱炎、非弁膜症性心房細動、前立腺肥大、高血圧

経緯：2025年11月 自宅で倒れ病院搬送。軽度の意識障害と右麻痺を認めた。MRIで脳梗塞と診断。意識レベルの悪化、脳梗塞の増大などもあり、失語症も認めている。12月に病院転院。

ご自宅で妻が介護するのは困難と判断し特養申し込み。施設への入所調整、リハビリの継続のため当施設へ入所となる。

内 容

入所当初は、施設のイベントや体操レクリエーション等にあまり興味がなく、職員がお誘いの声掛けをしても断れることが多く、居室に籠りがちとなっていた。その為、他ご利用者とのコミュニケーションは減っていき一人で居る時間が長く、食事以外は臥床されている日々が続いていた。

ご家族も面会時に横になっている事が多い事を心配されていた。離床時間の確保、活動量増加の為、ご本人の好きな事なら参加してくれるかもしれないと思い、ご家族に尋ねてみると以前は民謡の先生をしていたり、釣りが好きで活動的な性格だったとの事。そこで日々のレクで音楽をかけてご本人の反応をみると徐々に興味を示すようになり、歌レクなどにも参加されるようになった。レクへの参加が増え、納涼祭では、ヨーヨー釣りや射的などイベントにも参加され、ヨーヨー釣りでは釣りの楽しさを思い出し、アニマルセラピーではご自身から犬に触れ合いにいくなど積極性も見られ、イベントへの参加も前向きになられている。

離床時間や活動量も増え笑顔あふれる施設生活を送り、現在はご家族とまた釣りに出掛ける事を目標とし日々のリハビリに取り組まれています。

多職種、ご家族と連携しご本人の希望に着目。活気の回復につなげ、趣味や好きな事の提供によりご本人の意欲向上につなげる事が出来た今回の症例をキラキラ介護賞に推薦いたします。